

進化した「Truepress JetSX」を「IPEX2010」に出展 ～両面印刷機構など先進のメカニズムを搭載し、幅広いニーズに対応～

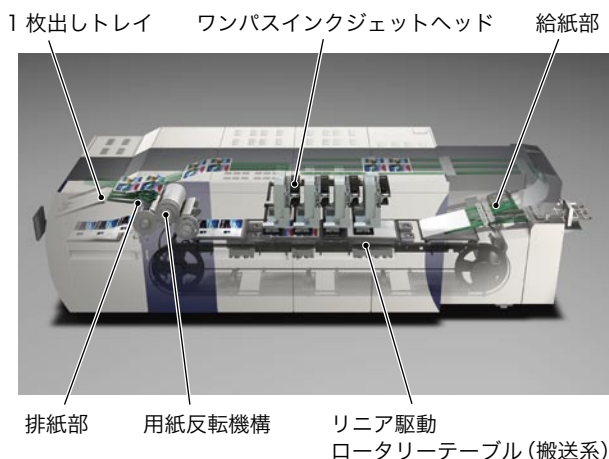
大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は、2010年5月18日(火)から25日(火)まで英国・バーミンガムで開催される国際印刷機材展「IPEX2010」において、新たに両面印刷機構を搭載したB2サイズ対応フルカラーバリエブル枚葉プリンティングシステム「Truepress JetSX (トゥループレス ジェット エスエックス)」を出展^{*}。高品質に加え小ロット、バリエブル印刷、短納期など、商業印刷分野で急速な広がりを見せるニーズに応えるソリューションを、具体的なサンプルとともにご紹介します。

「Truepress JetSX」は、世界初のB2サイズ対応フルカラーバリエブル枚葉プリンティングシステムとして「drupa 2008」で発表。今回、両面印刷機構を搭載するなど、新たな進化を遂げました。オフセットに迫る高い印刷品質、A4サイズの4面付けやA2サイズのカレンダーにも対応可能なB2サイズ仕様、オフセット印刷物へのバリエブル要素の追い刷りなど、従来の特長を継承しながら、標準装備として両面印刷機構を本体に搭載。バリエブル印刷やショートラン印刷への対応に不可欠となる、瞬発力に優れた装置となっています。これにより、カタログ、カレンダー、フォトブック、ポスター、グリーティングカードなど、両面印刷が求められる高画質で多様なアプリケーションに幅広く対応します。さらに、オフセット印刷で使用される本紙にプレコートすることなく印刷できるため、用紙の持つ風合いを生かした仕上がりが可能です。

今回の「IPEX2010」では、B2サイズに対応する「Truepress JetSX」ならではのA4横サイズの見開き印刷を、フォトブックのサンプルを通してご紹介します。さらに、高画質とバリエブル性が求められる、多言語に対応したカレンダーの両面印刷を、複数言語の面付け出力によるデモンストレーションによりお確かめいただけます。

当社は、新たな機能を搭載した「Truepress JetSX」により、商業印刷市場で求められる品質レベルを維持すると同時に、従来のオフセット方式では困難なショートラン、バリエブルなどの印刷に対応するソリューションを提供し、印刷業界の新たな付加価値創出を力強くサポートしていきます。

※ 参考出展



Truepress JetSXの内部構造

☆この画像の印刷用データ (解像度 300dpi) は、下記 URL よりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

< Truepress JetSXの特長 >

新開発のオリジナルインキを採用

新たに開発した「Truepress Ink」を採用。印刷本紙にプレコートすることなく印刷でき、用紙の持つ風合いを生かすことができます。

両面印刷機構を搭載

本体内部で両面印刷を実現する、独創の反転機構を開発。シングルパスでB2までのフルカラーバリエーション印刷を、両面でも可能にしました。

最小液滴2ピコリットル、最高解像度1,440dpiを実現

最小液滴2ピコリットルのグレースケールヘッドを採用。最高解像度1,440dpiが生み出す、オフセット印刷に迫る高画質を実現しています。

専用のFMスクリーニングを搭載

「Truepress JetSX」のために開発された、専用のFMスクリーニングを搭載。鮮やかな発色と、滑らかな調子再現が可能です。

リニアモーターによる高速・高精度搬送

リニアモーター駆動のロータリーテーブルにより、高速・高精度に用紙を搬送します。

高精度の表裏見当

オフセット印刷機と同様の針当て方式を採用。用紙への印刷位置を高精度に制御します。

独自の検査機能を搭載

印刷品質を監視するスキャナーを、本体内部に搭載。専用の管理ソフトウェアとの組み合わせにより、安定した高い印刷品質を提供します。

安全な抜き取り検査機構を内蔵

連続印刷中でも、出力先を専用の1枚出しトレイに変更するだけ。印刷中の抜き取り検査を安全に行うことができます。

<搭載する新開発のEQUIOSの特長>

CTPとPODの一元化を実現するユニバーサルワークフローに向け開発中の「EQUIOS」を、いち早く搭載。「Truepress JetSX」の性能を最大限に発揮します。また、Adobe[®] PDF Print Engine[®] 2を採用し、最新の制作環境に対応するとともに、バリエーションデータもサポートします。

充実した面付け機能

B2サイズの内紙を無駄なく利用するため、CTPワークフローで培った面付けのノウハウを踏襲。事前にデータの出力順を制御するデジタル丁合い機能などを装備し、後加工の負担を軽減します。

ハイレベルな色管理機能を搭載

プリプレスで培ったCMSのノウハウ、高色域のオリジナルインキの特長を生かしたCMS処理、高精度な特色疑似色化機能などを搭載。「Truepress JetSX」ならではの高品質印刷を実現します。

パフォーマンスを向上させる分散処理

複雑で負荷の掛かるフルカラーバリエーション印刷でも、分散処理によりエンジンのパフォーマンスを最大限に発揮。RIP演算部のロードバランスにも対応します。

プロセス間の連携に対応

CIP4が策定するJDFに準拠し、他社のWeb2Printや後加工機などに対応。他社システムを含むプロセス間の連携を実現します。

* Adobe、Adobe PDF Print Engineは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。